



## 県立の工業系高校の活躍を紹介します！



県立の工業系高校では、それぞれの専門分野を活かした技術や知識を競う大会に積極的に参加しています。今年も多くの生徒たちが将来の技術者としての誇りを胸に、全国や県内の舞台でその実力を発揮しました。

### 「全日本製造業コマ大戦 G3 千葉きぼーる場所」

9月14日(日) NPO 法人全日本製造業コマ大戦協会が主催する、「全日本製造業コマ大戦 G3 千葉きぼーる場所」が開催され、京葉工業、千葉工業、市川工業、清水、茂原樟陽、東総工業の6校が参加しました。

本大会は、全国の中小製造業等が自社の誇りを賭けて作成したコマを持ち寄り、土俵の上で対決して戦います。製造業に携わるプロが持てる技術をすべて注ぎ込んだコマが集う中、清水高校が審査員特別賞を受賞しました。

★清水高校 審査員特別賞 受賞



### 「本田宗一郎杯 ホンダエコマイレージチャレンジ2025 第44回全国大会」

10月12日(日) 本田技研工業株式会社が主催する、「本田宗一郎杯ホンダエコマイレージチャレンジ 2025 第44回全国大会」がモビリティリゾートもてぎで開催され、下総と千葉工業高校の2校が参加しました。

この大会は、1ℓのガソリンで何kmを走ることができるか、燃費の限界にチャレンジする競技会です。下総高校が高校生クラスにおいて優勝し、9連覇を達成するなど全国の舞台でその実力を発揮しました。

○ グループⅡ (高校生クラス 51チームエントリー)

優勝 下総高等学校自動車部 A 燃費 1831.073 km/l 平均速度 26.884km/h (9大会連続優勝)

リタイア(周回不足) 千葉工業高校機械発明創作部 燃費 - km/l 平均速度 21.393km/h

○ CN (カーボンニュートラル燃料) グループⅡ (高校生クラス 32チームエントリー)

優勝 下総高等学校自動車部 B 燃費 1671.401 km/l 平均速度 27.871 km/h (2大会連続優勝)



### 「第18回 風力発電コンペ WINCOM2025」

11月2日(日) 日本大学生産工学部が主催する、「ものづくり」の素養とデザイン・アイデアに富んだ環境エネルギー機器の性能を競う「第18回風力発電コンペ WINCOM 2025」に千葉工業、京葉工業、清水高校、下総高校、姉崎高校の5校8チームが参加しました。

この大会は、風速2m~6mの5段階時における発電量を計測し、5回の平均値で競います。高校生の部で千葉工業高校が校友会賞を受賞するなど、どの学校も健闘しました。

○高校生の部 垂直軸風力発電機

学 校	発電機名	平均出力	受 賞
下総高校	Wind Power2025A	4266 mW	
下総高校	Wind Power2025B	4126 mW	低風速評価賞
姉崎高校	姉崎高校ものづくりコースα2025	1474 mW	
清水高校	しみずぐも	1328 mW	アイデア賞
千葉工業高校	千工の風	982 mW	校友会賞
京葉工業高校	京葉 boy	73 mW	
清水高校	回れ！風力くん	0 mW	

○高校生の部 水平軸風力発電機

姉崎高校	姉崎高校ものづくりコースβ2025	344 mW	
------	-------------------	--------	--



下総高校製作の発電機(写真右)  
プロペラ部分は、自動車の車体で培ったガラス繊維の加工技術を駆使し、独自の工夫をしています。

お問い合わせ先：千葉工業高校

# インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
県立の工業系高校の活躍を紹介します!	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
令和7年度第7回千葉県教育委員会会議 (定例会)の内容について	3
Power Platform を活用した高校生向け ハッカソンを開催しました	4
子どもと親のサポートセンターの事業 ◆教育相談講演会2の開催について ◆教育相談基礎研修動画の配信について	5
2025活躍が期待される少年・少女 「チームちば」の紹介	6
県内学校ミニ・ニュース (八千代市立大和田南小学校)	7
県内学級担任紹介 (浦安市立浦安小学校)	8
イベント情報(生涯学習課・文化振興課より)	別冊
イベント情報(競技スポーツ振興課より)	別冊



県立高校の魅力発信に向け、標語とマークを制作しました!

県教育委員会では、県立高校の魅力を広く発信し、県民の皆様により親しみを持ってもらうことを目的として、標語「**いいじゃん! ちばの県立高**」とそのマークを制作しました。

制作した標語とマークは、県立高校の広報物やパンフレット、イベント、職員名刺などで幅広く活用し、県立高校の魅力発信を促進していきます。



【標語の趣旨・コンセプト】  
県立高校で学ぶ生徒への応援の気持ちと県民に“身近で誇れる学校”として感じてもらいたいという願いを込めています。

【マークの趣旨・コンセプト】  
緑地の円に黄色の三角形は千葉県をモチーフとしています

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール : [https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku\\_iken\\_kyouiku/form.html](https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html)

<アンケート>

[県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。\(←ここをクリック\)](#)



# 令和7年度第7回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日 令和7年10月15日（水） 議案及び報告は以下のとおりです。

## ＜ 審議事項 ＞

- （議案）第37号議案 県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラムについて  
第38号議案 千葉県子どもの読書活動推進計画（第五次）の策定について  
第39号議案から第42号議案まで 指定管理者の指定について  
第43号議案から第46号議案まで 契約の締結について  
第47号議案 専決処分の申入れについて  
第48号議案から第52号議案まで 職員の懲戒処分について
- （報告議案）第7号報告 職員の懲戒処分について
- （報告）報告 1 令和8年度（7年度実施）千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考の結果について  
報告 2 令和7年度全国高等学校総合体育大会「開け未来の扉 中国総体 2025」の結果について

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/iinkai/kekka/r7/071015iinkaikaigi7.html>（第7回結果）

## ◆ ◆ ◆ 教育委員の活動 ◆ ◆ ◆

### 学びの多様化学校視察

10月21日（火）に貞廣教育長職務代理者、花岡委員、永沢委員、櫻井委員の4名は、本年4月に習志野市立袖ヶ浦西小学校分教室と浦安市立浦安中学校分教室の名称で開校した「学びの多様化学校」を視察しました。

「学びの多様化学校」は、不登校の児童生徒の学びの場として、特別な教育課程の編成が認められた公立学校です。それぞれの学校で学ぶ児童生徒や施設の様子を視察するとともに、開校してからこれまでの現状や今後の課題等について、参加した関係者と意見交換を行いました。



授業参観の様子

### 令和7年度千葉県教育功労者表彰式

11月4日（火）に杉野教育長、貞廣教育長職務代理者が、ホテルポートプラザちばで開催された令和7年度千葉県教育功労者表彰式に出席しました。

表彰式では、教育行政・学校保健・芸術文化・社会教育・学校教育の5分野において、永年にわたり本県の教育・文化の発展に寄与した個人及び団体の皆様の功績を称えました。



教育行政の部、学校保健の部、芸術・文化の部、社会教育の部、  
学校教育の部（県立学校、千葉市）の受賞者の方々



学校教育の部（市町村立学校）受賞者の方々

# Power Platform を活用した高校生向けハッカソン※ を開催しました

※ハッカソン…「ハック」と「マラソン」を組み合わせた語で、プログラミングを用いて、限られた時間内に集中的に開発を行うイベント

プログラミングを用いた課題解決力の育成や情報活用能力の向上を図るため、県立高校生を対象に、「Power Platform を活用した高校生向けハッカソン」を開催しました。

9月14日、15日に、県立現代産業科学館で、33人11チームが参加し、アプリ開発を行い、9月27日には、日本マイクロソフト（株）品川本社にて発表会を開催しました。

## 9/14 アプリの開発を習得するための ワークショップ



## 9/15 チームに分かれてのアプリ開発



## 9/27 開発したアプリの発表会



開発したアプリは、オンライン技術サポートでさらにブラッシュアップして、全国情報教育コンテストへの応募を後押ししました。

<全国情報教育コンテスト>  
<https://zenjyocon.jp/>



**令和8年度 県立高等学校への入学を希望する生徒及び保護者の皆様へ**  
**千葉県立高等学校では、令和4年度からBYOD※による  
1人1台端末の活用を始めています！**

※ BYOD (Bring Your Own Device) :各自が所有する端末を持ち込むこと

各御家庭に御用意いただく端末は、文部科学省の定めた仕様の端末を原則としますが、各学校の学習内容や方針によっては、指定の端末を御用意いただく場合もあります。入学許可候補者説明会等において各学校が示す仕様を御確認ください。各学校が示す仕様に合う端末をすでにお持ちの場合は、購入の必要はありません。

また、端末の購入が困難な御家庭に対しては各学校に貸与用の端末を用意しています。貸出の手続き（対象者の範囲など）の詳細は各学校の入学許可候補者説明会等にてお知らせします。

子供たちにこれからの社会を生き抜く力を育むため、BYODによる生徒1人1台端末環境の実現に、皆様の御理解と御協力をお願いします。

お問い合わせ先：教育振興部学習指導課 ICT 教育推進室

## 子どもと親のサポートセンターより



### 「教育相談基礎研修動画」配信中！



千葉県子どもと親のサポートセンター  
マスコットキャラクター「こさぽん」

例年、教職員の皆様が、教育相談に関する基礎的知識や技術を学び、教員としての資質の向上を図ることを目的に「教育相談基礎研修」を開催しています。

その研修の一部を今年度も当センターホームページにてオンデマンド配信しています。

このコンテンツは、研修受講者以外の方も自主研修や校内研修でご活用いただけますので、教育相談に関する力量を高めるため、ぜひご視聴ください。詳しい視聴方法については、各学校に配付されたチラシをご参照ください。

- ◆研修内容 ① 教育相談の意義  
② 学校現場で生かすコミュニケーションスキル
- ◆掲載時期 令和7年12月26日（金）まで
- ◆ホームページ URL <https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/>



こさぽん（秋 Ver.）



### こんな相談窓口あります！

困ったなあ…  
どうしよう…  
どこに相談すれば？

子育ての不安、不登校、学校生活、進路など、教育に関するお悩みに専門のカウンセラーが応えます。児童生徒本人のほか、保護者や教職員も利用できます。

#### (1) ワンストップ・オンライン相談 (Zoom アプリを利用)

対 象：児童・生徒／保護者／18歳以下の若者／教職員

実施日：月曜日～金曜日 9時～17時まで（1回40分、1日7コマ）

◇申請手順 右の二次元コードから予約（1か月前から Web 予約受付可）

◇ホームページのURL：[https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve\\_online](https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online)



#### (2) Eメール相談 ※24時間受付

★下記のアドレスから相談できます。↓

[saposoudan@chiba-c.ed.jp](mailto:saposoudan@chiba-c.ed.jp)

◇件名は必ず「相談」としてください。件名がない場合お返事ができないこともあります。

◇サポートセンターからの返信は、数日かかることがあります。





## 2025活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介

9月から滋賀県で行われていた第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ2025」が10月8日に閉会しました。

千葉県選手団は、少年種別の選手が大活躍し、男女総合成績（天皇杯得点）第8位、女子総合成績（皇后杯得点）第7位と健闘しました。

個人・団体2位以上の成績を収めたジュニア選手・チームは次のとおりです。

競技	種別	種目	成績	氏 名	所属名
陸上競技	少年男子 A	300m	1 位	東島 権治	船橋市立船橋高等学校
		300mH	1 位	栃木 匠吾	柏市立柏高等学校
	少年女子 A	300m	1 位	バログン ハル	市川高等学校
	少年女子 B	100m	1 位	横山 柚希	柏市立柏高等学校
水泳	少年女子	飛込（高飛込）	2 位	鈴木 静玖	千葉県立幕張総合高等学校
	女子	水球	1 位	福井 夏	秀明八千代高等学校
				柴田 奏	秀明八千代高等学校
				関 亜友結	秀明八千代高等学校
				宮本 あかり	秀明八千代高等学校
				宇津江 桜琴	秀明八千代高等学校
				傍嶋 さくら	秀明八千代高等学校
				寺田 千夏	秀明八千代高等学校
体操	少年男子	競技	2 位	角谷 太樹	船橋市立船橋高等学校
				赤堀 早朱慶	船橋市立船橋高等学校
				乗原 立貴	船橋市立船橋高等学校
				高橋 諒圭	船橋市立船橋高等学校
				西 湊丞	船橋市立船橋高等学校
	少年女子	新体操	1 位	佐波 結来	昭和学院高等学校
				板倉 心日菜	昭和学院高等学校
				魚津 凜花	昭和学院高等学校
				梅澤 芽咲	昭和学院高等学校
				中村 明里	昭和学院高等学校
ボクシング	少年男子	バンタム級	1 位	片岡 叶夢	習志野市立習志野高等学校
レスリング	少年男子	グレコ 55 kg級	2 位	大井 喜一	日本体育大学柏高等学校
ハンドボール	少年女子		1 位	佐々木 音杜	昭和学院高等学校
				牧 琴音	昭和学院高等学校
				尾上 美優	昭和学院高等学校
				若林 桃香	昭和学院高等学校
				金澤 夏帆	昭和学院高等学校
				竹内 心美	昭和学院高等学校
				永井 桜莉	昭和学院高等学校
				濱口 りお	昭和学院高等学校
				高橋 琉	昭和学院高等学校
				梶野 菜月	昭和学院高等学校
				峯村 心	昭和学院高等学校
				金子 くるみ	昭和学院高等学校
				竹之内 琉汰	木更津総合高等学校
ソフトテニス	少年男子		2 位	道祖土 滉樹	木更津総合高等学校
				中原 一翔	木更津総合高等学校
				手塚 康介	木更津総合高等学校
				舘田 陸斗	木更津総合高等学校
馬術	少年	標準障害飛越	2 位	岩田 音瑠羽	上野学園高等学校
		スピード&ハンディネス	1 位		
スポーツ クライミング	少年女子	リード	1 位	村杉 汐里	千葉県立幕張総合高等学校
				的場 朱杜	千葉県立国府台高等学校
アーチェリー	少年男子		1 位	倉田 遼平	千葉黎明高等学校
				立原 慶汰	千葉英和高等学校
				鈴木 陽向	千葉県立津田沼高等学校

お問い合わせ先：スポーツ・文化局競技スポーツ振興課 電話：043-223-4104

# 県内学校ミニ・ニュース

(八千代市立大和田南小学校)

本校は平成30年に八千代市内で初めて「ユネスコスクール※」に認定されました。今では市内の加盟校は8校(R7.10月末現在)となっています。市全体でユネスコの理念のもとESDの推進を行いながら、子どもたちが生きるこの先の未来の創造を目指しています。

※ユネスコの理念を学校現場で実践するために昭和28年に発足した、国際的なネットワーク。加盟校同士が活発に交流し、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展が目指されている。

## The School that Sows Seeds of Peace

目指すは「平和の種をまく学校」



### 【本校の取組】

#### ①感謝の輪を広げる「新しい教師の日」



10月5日は「教師の日」として、児童が教師に感謝をする日とされていますが、本校ではそれを進化させ、自分たちを支えてくれる人たちに感謝する日としました。子ども自身が日常を振り返り、ありがとうを伝えたいと思える環境を校内に広めました。

もちろん「子どもたちから多くのことを教わっている」教師自身も、児童に感謝する日でもあります。

#### ②一人一人が自らの考えで「SDGsチャレンジ」



夏休みの課題として各自がSDGsについて調べたことをまとめ、異学年に伝え合う「SDGs 課題発表会」を行いました。

じっくりと時間をかけることで、広く世の中について考える機会となっています。異学年でグループが編成されていることも刺激になっているようです。

#### ③イメージ教育から「国際(多様性)理解」



毎年2回、市内で活躍するALT(外国語指導助手)が本校に集結し、「イメージイベント」を行っています。ALTそれぞれの母国の文化を感じることで、子どもたちお待ちかねのイベントです。

各ALTが英語での説明のあと、ダンス・伝統遊び・工作を行いました。「日本とは違う、でもこれも楽しい!」が溢れた時間を過ごすことができます。

「平和の種」は私たちの心の中にあります。ユネスコスクールは、その種を育て、未来へ羽ばたかせる場所です。

今年、市内の加盟校同士の連携を目的に発足した「ユネスコスクール連携協議会」において、これまでの本校の取組を積極的に共有しています。そして、八千代市から世界へと平和の連鎖を生み出す夢を担い、これからも教育活動を充実させていきます。がんばれ、大南の子どもたち!!

# 県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名： 浦安市立浦安小学校



担任名：吉田 圭之介  
教員経験：11 年目

(令和7年10月1日現在)

## 学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

学習、行事、学級活動を通じて、児童の興味・関心を引き出し、子ども主体の活動の場を広げています。児童一人一人に成長がみられたとき、教職のやりがいを感じます。

## 授業で心掛けていること

生徒指導の実践上の視点を生かしつつ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、まずは、自分の考えをもち、ペアやグループで伝え合う場を各教科等で設けるようにしています。

## 私の好きな「言葉」

「子どもの夢と願望はすべての人間の基本」  
遊び心と向上心を忘れず、しなやかに生き  
ることを心がけています。

## 【メディアセンターの効果的活用】

本校には、学校図書館とPC室の機能を統合した「メディアセンター」が整備されています。

メディアセンターでは、書籍とインターネットを組み合わせ、より効果的で 深い調べ学習に子どもたちが主体的に取り組んだり、大型提示装置を活用し、発展的・協働的な学習やプレゼンテーションの学習を行ったりすることができます。

右の事例は、理科の単元「土地のつくりと変化」において、図書資料とGoogle Earthを使って世界のあらゆる地層のつくりを調べ、地層の重なりや広がりをつめる学習を展開したものです。

児童が見つけたあらゆる地層を、大型提示装置で提示することで、細部まで地層の様子を観察が可能となりました。観察して気付いたことや疑問点を出し合い、学習問題の設定と学習計画づくりができました。

### ○ 個別で調べ学習に取り組む

図書資料



Google Earth



### ○ グループごとに共有

個々の児童が、様々な視点から図書資料やインターネット資料を集め、集めた資料を自分なりに取捨選択し、まとめるという過程を大切にしながら、対話・共有するようにします。

### ○ 大型提示装置で全体共有

図書資料はタブレット端末で撮影し、Google Earthで見つけた資料はスクリーンショットして、Teamsに投稿します。その後、全体で共有します。

担当：企画管理部 教育政策課